

編集／医師35人とCOML合同委員会
事務局／ロハスメディア
監修／木村哲 東京通信病院院長（前・国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター長）
中村哲也 東京大学医科学研究所病院感染免疫内科長

（特集1）

過去の病ではない！

AIDS HIV

ご存じないかもしれませんが、気づいたらHIVに感染していた、という人が増えています。特別な病気では、ありません。過剰に恐れず、かつ侮らずに日々を過ごすため、基礎的な情報を再確認しましょう。



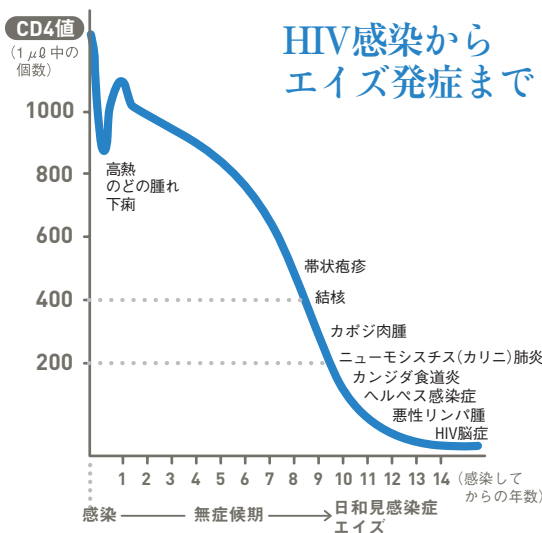
AIDS（エイズ＝後天性免疫不全症候群）をご存じですよ。そのエイズを引き起こすのが、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）だということもおそらくご存じでしょう。

では、そのHIVの感染者が、日本でどんどん増え続けていることをご存じですか？

かつて1992年にストップ！エイズキャンペーンが盛り上がったことがあり、最近はまだ活動が活発でないのに、何となく問題は解決したのだろうと思っていたかもしれませんが、事態はどんどん悪化しているのです。

とはいえ、パニックに陥る必要はありません。なぜならHIVは、比較的感染力が弱く、性行為以外の日常生活で感染することはほとんどありませんし、たとえHIVに感染しても、適切な医療を受ければ、エイズを発症することなく、普通の社会生活をまっとうできるからです。

たとえ感染しても 死の病ではありません。



ま すは、HIVが一体どういうものなのか知るところから始めましょう。

ウイルスとは、生物の細胞の中に入り込んで、その細胞の力を借りながら自分自身のコピーを増やし、やがて細胞を破壊するものです。

HIVは、CD4陽性Tリンパ球(以下CD4と呼びます)という免疫の司令塔や、マクロファージという免疫の最前線にいる細胞に感染して、どんどん壊していきます。

人体を町に例えるなら、HIVは警官だけ選んで寄生するエイリアンのようなものです。警官が次々に倒れて足りなくなった結果、別の外敵が侵入してきて暴れたり、普段はおとなしくしている住人の

一部が暴徒と化したりするのがエイズで、やがて町そのものが減ってしまいます。

HIVに感染してから警官がほとんどいなくなつてエイズを発症するまで、個人差はあるものの大体10年程度かかります。現在は薬が進歩したため、まだ警官が残っているうちに治療に入れば、完全に撃退することはできないまでも、エイズ発症のリスクをゼロに近づけることはできると考えられています。

となれば、エイズ発症前に感染に気づきたいところです。感染すると、まず初期症状が出ることが多いのですが、のどが腫れて痛くなったり、高熱が出たり、筋肉痛になったりというインフルエンザに

よく似た症状が2週間ほど続き、そのうちすつきり治ります。初期症状は、ウイルスが体内でいったん爆発的に増えることによつて起こります。

厄介なのは、この時期にHIV感染を疑って検査をしても感染を検知できないことです。また、初期症状の出ない人もいます。初期症状段階で感染を検知できない理由は、通常のHIV検査がウイルスそのものを検出するのではなく、抗

体(ウイルスを排除するための目印として免疫が作るタンパク)を検出するものだからです。抗体が作られ始めるのは、感染してから1カ月半から3カ月程度かかります。

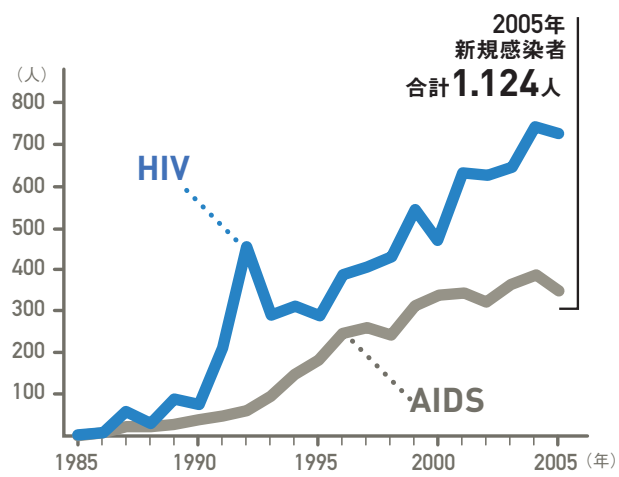
初期症状段階が過ぎると、何年も症状のない時期が続きます。このため、たいいていの感染者は、自分が感染していることにまったく気づきません。時折、帯状疱疹^{ほうじょうしん}が出たり、口の中にカビが生えて白くなつたりすることもあります。一過性で治つてしまっても、内科医を受診したとしても、医師の方がHIVに思い至らないことも多いです。

もちろん帯状疱疹が出たり、口にカビが生えたからといってHIVに感染したとは限らないのですが、もしそういう症状が出たら、念のためにHIV検査を受けてみた方が無難とは言えるでしょう。

2

異性間の性交渉でも感染するリスクはあります。

冒 頭で、HIVの感染者がどんどん増えているという話をしました。どの程度の増え方かというところ、厚生労働省の把握している数字では、下グラフのような感じでは、04年、05年と連続で新たな感染者が千人を超えました。



HIV感染者／エイズ患者の届け出数

(出典：厚生労働省エイズ動向委員会報告) ※ 2005年は速報値

しかも、前項で説明したように10年程度の潜伏期間中は自覚症状がないため、実際の感染者数はこの何倍もいると考えられています。自分が感染したことに気づかない人は、知らないうちに身の回りの人を感染させてしまう危険性があります。

繰り返しになりますが、本人のQOLのためにも、周囲の人のためにも、早く感染に気づくことが大切です。まず

は、HIVがどのよう感染するのか知らないことには始まりません。HIVがリンパ球に取り付くというのは既に説明しまし

た。言葉を換えると、HIVはリンパ球のあるところ、つまり血液中や精液中、膣分泌液中に存在するということとなります。これらが別の人の体内に入り込むと感染します。この経路は、大きく分けて5つあります。

- ① 性交渉
- ② 母子感染
- ③ 血液製剤や輸血
- ④ 麻薬注射の回し打ち
- ⑤ 医療従事者の針刺し事故、です。

我が国の血液製剤経由を除いた感染者の4人に3人を占める①については、次のページで紙幅を取って説明します。

②は、子宮内にいる段階、分娩で赤ちゃんが産道を通って出てくる時、母乳を通じてという3パターンがあります。最後の母乳は意外かもしれませんが、母乳にはお母さんの血液成分が含まれているのです。母子感染の多くは、母親が自分の感染に気づいてさえいれば防げるものなので、ここでも早く感染に気づくことが大切になります。

③の代表例は、薬害エイズ(コラム参照)として、皆さんの記憶にも残っていることでしょう。

④は、日本では多くありませんが、麻薬を使っていると大抵お金に困るようになるため、同じ針で何人も回し打ちすることが多くなります。針の中に残った血液を血管内に入れてしまいますので、とても高い確率で感染します。

⑤は、発想は全然違いますが、針刺し事故でも麻薬の回し打ちと同様の危険性があります。このため医療従事者は、血を見るような治療の際には手袋をすることが多いはずですが、お互いの無用な感染を防ぐための措置で、あなたに直接触りたくないということではありません。

また世の中には、B型肝炎ウイルスのように、HIVより遥かに感染力の強いウイルスも存在しますので、医療従事者の手袋を見ても、気分を害さないようにしましょう。



薬害エイズのこと、おさらいします。

血友病といって、出血時に血を固める成分(血液凝固因子)が作れないか、不足してしまう病があります。この患者さんたちは、出血を止めるため、もしくは出血を予防するために、他人の血液から精製した血液凝固因子の製剤を日常的に用いています。

1970年代後半から80年代にかけて投与された非加熱血液製剤にHIVが混入していたことから、血友病患者の約4割がHIVに感染して多くの方が亡くなりました。

この件で患者さんたちが製薬会社と国を訴え、被告側が全面的に責任を認めて96年に和解が成立しました。製薬会社の経営者や旧厚生省の担当官は刑事責任も問われ、有罪判決が出ています。

「いきなりエイズ」を防ぐには こうやって検査を。

前 頁でいろいろな感染のパターンを説明してきましたが、圧倒的に感染者が多いのは、性交渉によつてです（下グラフ）。

性交渉で感染するのは、膣やペニス、肛門、口などの粘膜に傷がつくか、元々傷があるかで、そこからウイルスが入り込むため。特に肛門の粘膜は傷つきやすいので、男性同性愛者間では感染しやすいことが知られています。エイズが騒がれたところに、同性愛者が感染する特殊な病気と誤解された原因がこれです。ただしグラフをご覧いただければ分かるように、現在は異性間での感染も増えてきています。これは何を意味するかというと、もはやHIV/A

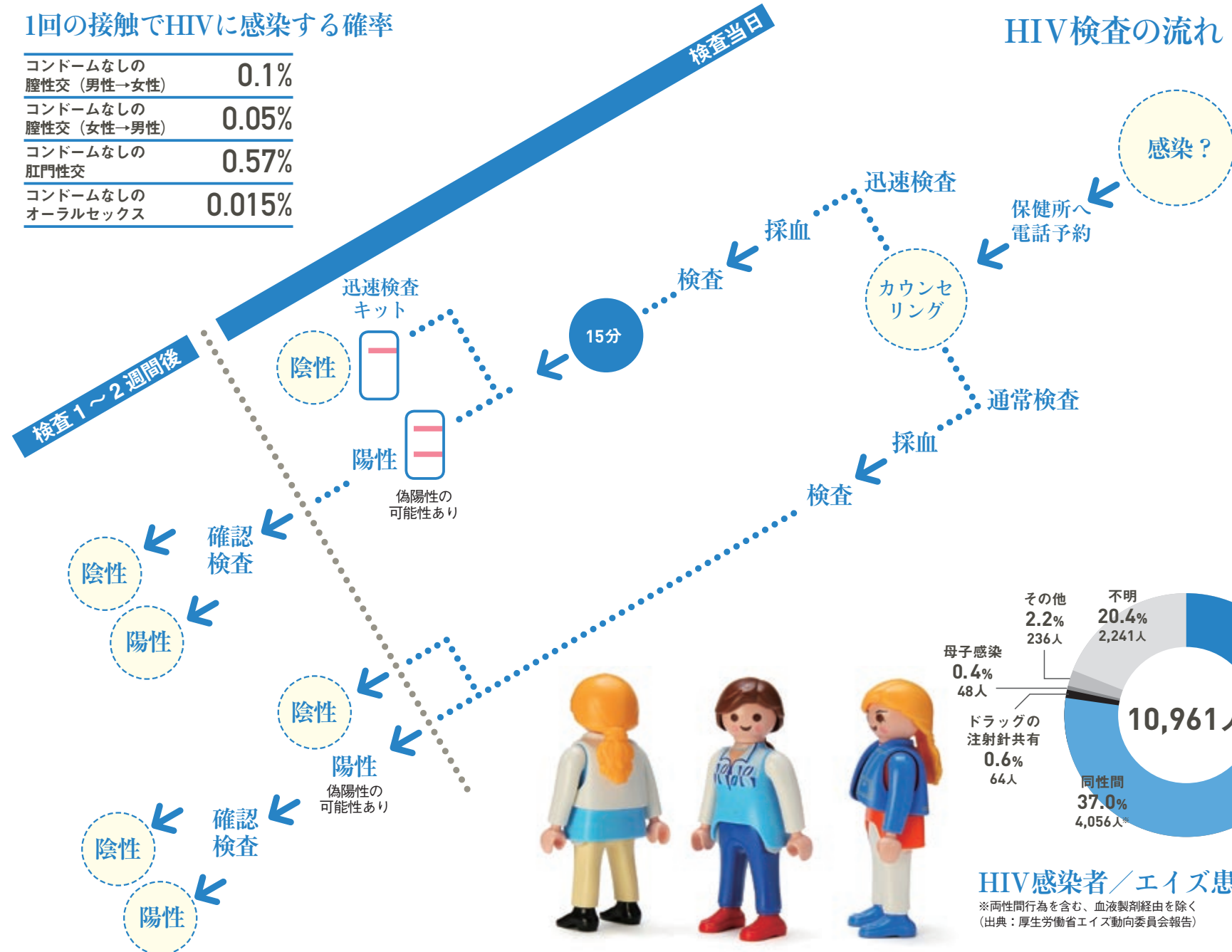
ID Sは特別な病気ではなく、ありふれた性感染症の一種であると捉えた方がよいということです。感染者が気づかずに性交渉を重ねると、さらに感染者が増えます。

性交渉によつて感染するリスクの割合は下表のようになっています。大した数字ではないように見えるかもしれませんが、HIV以外の性感染症を持っていて人の場合、粘膜のバリアが弱くなっているため、ずっとリスクが高くなります。同じように粘膜に傷があつたりすると確率は高くなります。オーラルセックスでもうつります。

自分や家族は大丈夫だろうかと心配になりましたか？ だったら検査に行ってみてはいかがでしょう。

保健所なら、匿名・無料で検査を受けられます。検査前の問診に5分から15分程度、採血に5分程度と非常に短時間で済みます。ただし、検査を受け付ける曜日や時間が限

HIV検査の流れ

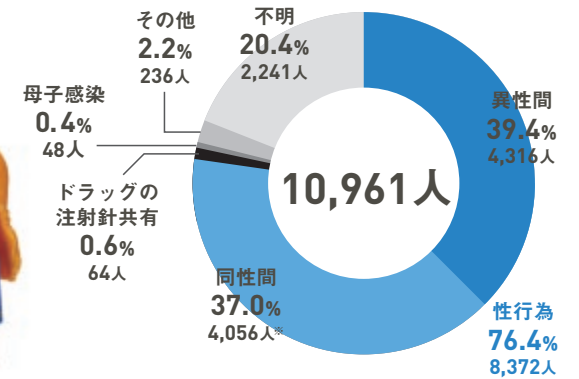


1回の接触でHIVに感染する確率

コンドームなしの膣性交 (男性→女性)	0.1%
コンドームなしの膣性交 (女性→男性)	0.05%
コンドームなしの肛門性交	0.57%
コンドームなしのオーラルセックス	0.015%

られていることも多いです。病院でも検査を受けられますが、有料のうえに健康保険が使えません。

一般の検査は、採血をしてから結果が出るまで1~2週間程度かかります。それが待てないという人には1時間程度で結果の出る迅速検査もあります。ただし、迅速な分、精度が落ちるので、実際には感染していないのに、感染し



HIV感染者／エイズ患者の感染経路

※両性間行為を含む、血液製剤経由を除く
(出典：厚生労働省エイズ動向委員会報告)

ているかのような結果（偽陽性と言います）が出ることもありますが、一般の検査よりやや多いのです。逆に迅速検査であっても、感染していないことは確定できません。（図参照）

検査について、もう少し詳しい情報を知りたいなら、厚生労働省研究班の運営している「HIV検査・相談マップ」(<http://www.hivkenasa.com/index.html>)をご覧ください。

献血を検査代わりに使うのはダメ!

保健所や病院へ行きたくないから、という理由で、検査代わりに献血をする人もいます。しかし、説明したように最大で3ヵ月程度の潜伏期間中は感染していても検出できませんし、検査をすり抜けてしまうと、その血液を輸血された人が感染してしまいます。犯罪といっても過言ではありません。絶対ダメ!です。

もし感染していたら 治療はこうします。

検

査を試してみたら陽性だったという場合、大変な衝撃ですから、結果を受け止めきれずに独りで悶々としてしまうかもしれません。でも、まだエイズを発症していない段階で見つかったのは、不幸中の幸いです。病院へ行けば何とかなる可能性があることを思い出してください。エイズの診療拠点病院が必ず地域にあります。

病院へ行けば、適切な時期に治療を開始してもらえますし、何より、不安を自分だけで抱え込まなくて済みます。何も対処しないままにいるのは、あなたも周囲の人も誰も得をしません。

病院で行われる治療は、「HAART（ハート）」とい

って、いくつかの強い抗ウイルス薬を組み合わせる毎日飲むものです。飲み始めると2〜3カ月後に、血液中からHIVが検出されなくなりま

す。ただし、HIVが完全に消えたわけではなく、薬を中断するとすぐ元の量に戻ります。

また薬を使う以上、当然副作用があります。薬疹や下痢の他、コレステロール値が上がってしまったたり、肝臓が悪くなったり、手足がしびれたり出てくる症状は様々ですが、健康な時とまったく同じというわけにはいきません。

ここに落とし穴があること、お気づきでしょうか。エイズを発症する前の場合、HIV感染による自覚症状はないの

に、薬を飲むと副作用が出るわけです。毎日、絶対に飲み続けられると自信のある人はそうはいきません。

こう書くのは、毎日きちんと服薬を続けることが非常に大切になるからです。最近では、副作用が少なく1日1回飲めばよい薬が認可されて治療に用いられていますので、以前と比べれば服薬を続けやすくなっています。飲み忘れが続くと、体に残っているHIVが薬の効かないHIVに変化する危険があります（ウイルスが耐性を持つ、とい

います）。耐性ウイルスが増えると、自分はもちろん、そのウイルスに感染した人の治療法を狭めてしまいますので大変やっかいです。飲むからには、きちんと飲むことが大切です。また見逃せないのが、HAARTに使われる薬は高価で、検査代も入ると月に20万円程度の医療費がかかるという

ことです。もちろん健康保険が使えますし、HIV感染者は身体障害者の認定を受けることができるので、「更生医療」という制度を使って公費補助を受ければ、かなり負担は減ります。健康保険を使うと会社にバレる、と心配かもしれませんが、健康保険組合には罰則付きの守秘義務があります。

繰り返しになりますが、長期に服薬を続けると、副作用や耐性ウイルスの心配、経済的負担といったマイナス面があります。

このように様々なことを考慮して、最近の治療は、感染が分かっても即座にHAARTを始めるというのではなく、CD4の数がこれ以上減ったら危険水域というところまで待つて投薬を始めるようになっていきます。その開始時期を見誤らないために、定期的に通院して血液検査を受けることとなります。

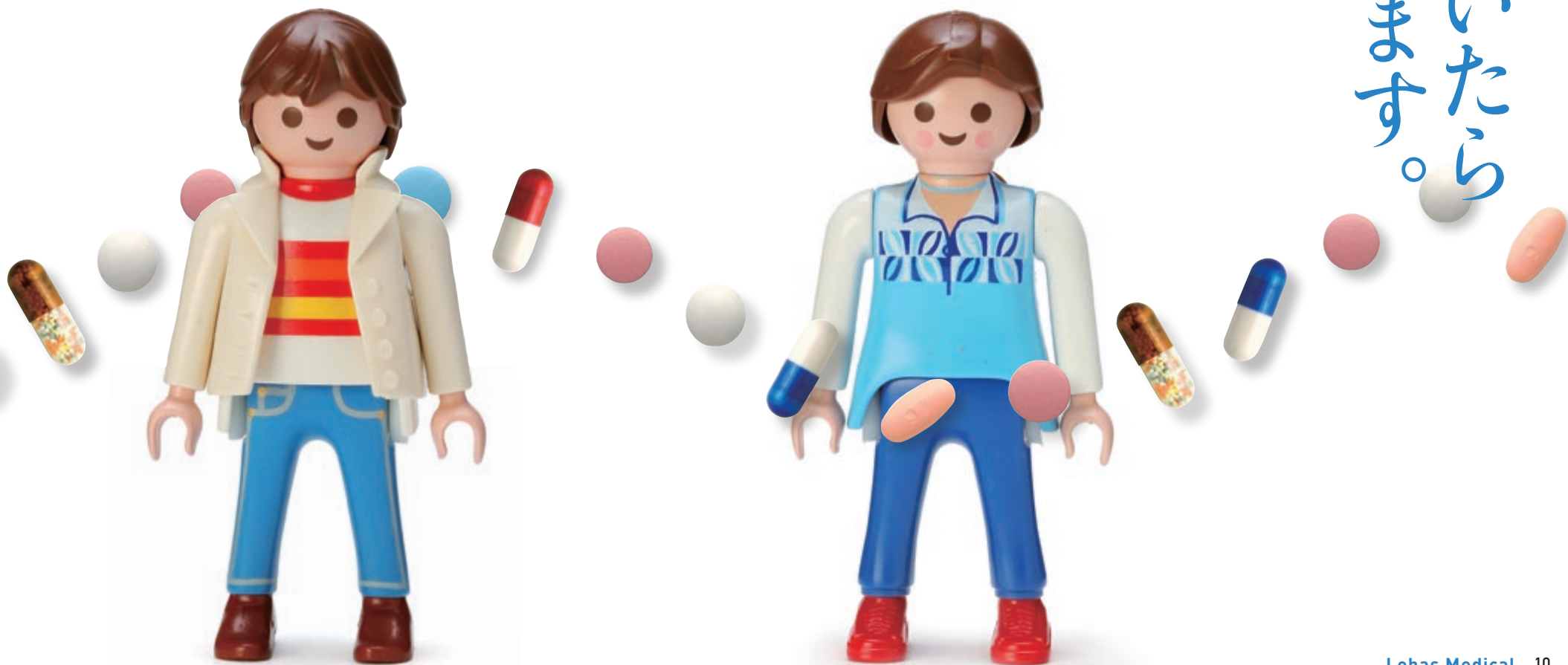


いまや日本は 性感染症大国です。

性感染症にかかると、粘膜のバリアが弱くなりますので、HIVの感染も起こりやすくなります。

日本で性感染症は57年に売春防止法が施行され、またよく効く薬も出たことにより長く患者が減る傾向にありました。しかし、90年代半ばから再び増加傾向に転じ、厚生労働省には年に約7万件の症例が報告されています。

この背景には、近年の性体験年齢低下があるものとみられ、厚労省では今年度から電話相談窓口の設置など、本格的な若年層向け対策を始めています。



まず実態を知ること 家族・友人にもお知らせを。

こ こまで読んできて、どのような感想を持った

でしょうか。この問題は、決して他人事ではないのです。

繰り返しですが、感染に気づかず生活している感染者が、国内に万単位で存在すると考えられています。その人たちと性的接触を持ったなら、自分だって感染する可能性があるのです。

HIVの検査をして陰性に出たとしても、それは少なくとも3カ月前までは感染していなかったことを示すに過ぎませんし、もちろん一生感染しないことを保証するものでもありません。リスクの高い行為は避けた方が無難ですし、そういった行為に思い当たる

ならなるべく早く検査を受けるときです。

リスクの高い行為とは、無防備な性行为。つまり、不特定多数とのセックス、コンドームなしのセックスです。決まった特定の相手とのセックスであっても、その人の過去の相手がリスクの高い行為をしていないとは限りません。相手にとって、あなたも同様です。

逆に、性行为の最初から最後までコンドームを使用したならば、たとえ相手が感染者であっても、予防は可能です。この他、髭剃りや歯ブラシの共有も避けましょう。

家族や友人などに、リスクのある行為を続けている人は



いませんか？

後悔先に立たず、
です。大切な人

が危険な行為をしていることに気づいたら止めてあげましょう。自分ではよく説明できないなと思ったら、この冊子を渡してあげてください。



playmobil

©2006 geobra Brandstätter.

PINOCCHIO

プレイモービル日本販売総代理店 株式会社アガツマ

●商品のお問い合わせ TEL.03-5820-7270

●http://www.playmobil.co.jp

株式会社アガツマ